

科目	単位	時間	履修学年	講師名
基礎看護技術 I (バイタルサイン)	1	30	1	
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> 看護技術の持つ意義を理解し、科学的根拠に基づいた技術を追求する姿勢を養う 看護の共通技術であるコミュニケーション技術とバイタルサインの観察技術を習得する 			
回数	授業内容	授業方法		
1回目	<u>看護技術を学ぶにあたって</u> ・基礎看護学の位置づけ ・看護技術の特徴 ・看護技術の範囲	講義 個人ワーク グループワーク		
2回目	・看護技術を適切に行うための要素 ・看護技術の原理原則：安全・安楽・自立・個別性			
3回目	<u>コミュニケーション</u> ・コミュニケーションの意義と目的 ・コミュニケーションの構成要素と成立過程 ・関係構築のためのコミュニケーションの基本			
4回目	・効果的なコミュニケーションの実際 ・具体的場面でのコミュニケーション行動とその評価 ・コミュニケーションに障害がある対象への対応			
5回目	<u>ヘルスアセスメント</u> ヘルスアセスメントとは・ヘルスアセスメントにおける観察・視点	講義		
6回目	<u>健康歴とセルフケア能力のアセスメント</u>	講義		
7回目	<u>全体の概観</u> ・バイタルサインの観察とアセスメント ・フィジカルアセスメントに必要な技術（視診・触診・聴診・打診） ・全身状態・全体印象の把握	講義		
8回目				
9回目	【第1回目】	演習（実習室）		
10回目	バイタルサイン測定（血圧・呼吸・脈拍・体温）と報告の実際 血圧測定の実際（触診法・聴診法）と報告			
11回目	【第2回目】	演習（実習室）		
12回目	バイタルサイン測定（血圧・呼吸・脈拍・体温）と報告の実際 血圧測定の実際（触診法・聴診法）と報告			
13回目	【第3回目】	演習（実習室）		
14回目	バイタルサイン測定（血圧・呼吸・脈拍・体温）と報告の実際 血圧測定の実際（触診法・聴診法）と報告			
14.5回目	心理・社会的アセスメント（45分）	講義		
15回目	終講試験(筆記試験)（45分）	筆記試験		
教科書	①基礎看護技術 I 基礎看護学 医学書院 ②根拠と事故防止からみた基礎・臨床看護技術 医学書院 ※教科書①は講義・演習ともに、必ず持参すること。			
評価方法	筆記試験 100点（別途小テスト・提出物評価も含む）			
備考	技術チェックを実施する：バイタルサイン測定 詳細は別途提示する。 ・技術は練習だけすれば身に付くものではありません。何故そうするのか根拠を学び、正しい知識と技術と態度の習得をしていけるように一緒に学習していきましょう。 ・演習時間で技術の習得を目指すために、真剣に取り組むこと。 ・技術チェックを受けて、到達度に達するまで評価を受けること。			